



「新しい学校生活」の構築に向かって

2月3日は立春。暦の上では春ですが、まだまだ寒い日は続きそうです。ところで、今年の節分は2月2日。これは、明治30（1897）年以来124年ぶりだそうです。

また、この冬のインフルエンザの患者数ですが、11月の患者数は昨年同月比で9割減となっているようです。その要因の1つが、ワクチンの接種数です。10月の全国の接種数は前年の3倍近くに上るといデータがあります。その他にも、マスクの着用、手洗い・うがい・手指の消毒の徹底もインフルエンザ感染の抑止につながっていると考えられています。インフルエンザ流行の抑止、これは正に、新型コロナウイルス感染予防の取組によるものであり、「新しい生活様式」により、毎年冬になると心配していたインフルエンザの流行が抑え込まれているということになります。

新型コロナウイルス感染拡大により翻弄された令和2年度も残すところ2か月となりました。感染拡大の防止に向け、まだまだ気は抜けません。しかし、コロナ禍において、先生方が試行錯誤して取り組んでいただいたことを精査し、「新しい学校生活」につなげていただければと思います。

【2月の予定】



※時間のみ記載の研修会の場所は、下野市庁舎です。

※市教育研究所主催行事 市関係行事 学校関係行事 その他

日	月	火	水	木	金	土
	1 全日制特色選抜 願書等提出(～2日)	2 	3	4	5	6
7	8 小学校社会科副読本 活用研究会 15:30 全日制特色選抜入試 (～9日)	9 児童生徒指導研修会 14:00	10	11 建国記念の日	12 栄養教諭・学校栄養 職員研修会 14:00	13
14	15 県立高校特色選抜 合格者内定者発表	16	17	18 市定例校長会議 9:00 定例教育委員会	19 全日制一般選抜願書等 提出(～22日) 園児の小学校見学 (南河内地区) 下地区行事調整会議	20
21	22 子ども未来プロジェクト 第2回交流会 幼小情報交換会 (全地区)	23 天皇誕生日	24	25 全日制一般選抜 出願変更(～26日) 定時制フレックス選抜 願書提出(～26日) 園児の小学校見学 (国分寺東小) 臨時教育委員会	26	27
28						

地域とともにある学校づくりを目指して ～学校運営協議会の取組～

平成30年4月、市内全小中学校に学校運営協議会が設置されて3年が過ぎようとしています。学校運営協議会では、学校と委員である地域の方による活発な討議が行われ、その結果、様々な活動が行われています。

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化の傾向が見られます。これらの課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、**社会総がかりでの教育の実現**が不可欠です。

そのために、学校運営協議会において学校と地域住民等が**熟議を重ね、「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有**します。この過程を通して、**学校と地域が連携・協働し、一体となって特色ある学校づくりが進められていきます。**

学校運営協議会制度は、「**地域とともにある学校づくり**」への転換を図るための有効な仕組みです。

学校運営協議会

学校ごとに、当該学校の運営に関して協議するためにおかれる機関。
(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5第1項より抜粋)

熟議・協働

熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話。

協働とは、同じ目的・目標に向かって、対等の立場で協力して共に働くこと。

学校と地域の連携推進モデル事業「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」の実践から

今年度、国分寺中学校が、本事業の実践校として県教育委員会より指定を受け、1年間研究に取り組みました。コロナ禍にもかかわらず、様々な活動に取り組み、多くの成果を上げることができました。主な活動をご紹介します。

①農家見学



1年生の総合的な学習の時間の活動として実施。生徒がグループに分かれて、市内複数の協力農家を訪問し、栽培等の話を伺ったり、体験活動を行ったりした。

②里山活動



国分寺跡の清掃活動。活動を通して、歴史的遺産保護や里山の自然環境保全活動の重要性を知るとともに、郷土である下野市の歴史と自然の素晴らしさに気付く機会となった。

③本の読み聞かせ



国分寺中学校の生徒が、国分寺小学校、国分寺東小学校の児童に本の読み聞かせを行った。生徒は、事前に地域の読み聞かせボランティアの方から本の読み方や時間の使い方、本の選択などの指導を受けた。

これらの実践には、様々な機関・団体や地域の多くの方々に関わっていただきました。それらの人たちとの間に構築されたネットワークは、今後の教育活動に大いに生かされると思います。また、活動を通して、子どもたちがたくさんの人と関わり、その思いを知るとともに、自分たちの郷土である下野市について気付き、郷土への関わりを考えることができるよい機会となりました。

今後も、学校運営協議会において活発な熟議を重ね、それぞれの学校区の実態や特徴を生かした地域と学校の連携・協働活動を展開していただければと思います。そして、地域を知り、地域に触れ・学び、地域を語るができる子どもたちを育てていきたいと思っています。